

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公開番号】特開2013-218311(P2013-218311A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2013-46513(P2013-46513)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

H 01 L 29/786 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 09 G 3/20 6 1 1 H

G 09 G 3/20 6 7 0 D

H 05 B 33/14 A

H 01 L 29/78 6 1 3 Z

H 01 L 29/78 6 1 8 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のトランジスタと、第2のトランジスタと、第3のトランジスタと、第4のトランジスタと、第5のトランジスタと、容量素子と、発光素子と、を有し、

前記第2のトランジスタは、酸化物半導体層にチャネル形成領域を有し、

前記第3のトランジスタは、酸化物半導体層にチャネル形成領域を有し、

前記第1のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記発光素子と電気的に接続され、

前記容量素子の一対の電極のうちの一方は、前記発光素子と電気的に接続され、

前記容量素子の一対の電極のうちの他方は、前記第2のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第1のトランジスタのゲートと電気的に接続され、

前記第4のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第1のトランジスタのゲートと電気的に接続され、

前記第4のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第2のトランジスタのソース又はドレインの一方と電気的に接続され、

前記第5のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記容量素子の一対の電極のうちの一方と電気的に接続され、

前記第5のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記容量素子の一対の電極のうちの他方と電気的に接続されることを特徴とする表示装置。